

美容医療のトラブルにご注意！

最近、美容医療に関する相談が増えています。

相談 小顔になりたいと思ってネットで調べていたら「顔の脂肪吸引5万円から」という美容クリニックの広告を見つけた。思っていたよりも安い金額だったので、無料カウンセリングの予約をした。2日前にクリニックへ行き、カウンセラーに希望を伝えると、吸引箇所が多く、麻酔や吸引後のケア施術もした方が良いので、40万円ぐらいかかると言われた。高額なので悩んでいたら「モニターコースを契約すると価格は19万円になると言われた。60回のローン払いも可能」と言うので契約した。来週施術予約を入れたが、もっと安く施術しているクリニックを見つけたのでクーリング・オフしたい。

美容医療とは、医療機関で医師が行う脱毛や脂肪吸引・豊胸・二重まぶたの手術・包茎手術・審美歯科など美容を目的とした診療サービスのことをいいます。美容医療サービスの中でも、

消費生活センター(ステーションビル3階) ☎753・5555

サービスの提供期間が1カ月を超え、かつ支払総額が5万円を超えるもので、特定商取引法の要件を満たす契約は、特定継続的役務提供に該当し、クーリング・オフが適用されます。しかし事例の場合は、1回限りの施術のためクーリング・オフの対象外となります。美容医療サービスのトラブルは年々増加しています。無料カウンセリングに行き、その場で契約と施術を迫るケースも多くみられます。美容目的の施術の多くは緊急性がありません。不安をおおられても、モニター契約で割り引きになると言われても、すぐに契約せず冷静に考えましょう。クリニックの広告をうのみにせず、施術方法・費用など、情報収集をして検討しましょう。

「施術した部分が腫れて痛い」「傷が残った」「出来栄が左右非対称になった」など、美容医療サービスにはリスクと副作用が伴うことがあります。しっかりと説明を受け、理解してから契約しましょう。

健康相談
Q & A
池田市医師会
<http://www.ikeda-osaka-med.jp/>

Q 健康診断でHDLコレステロールが高いと言われましたが、医療機関を受診すべきでしょうか。

A HDLコレステロール(高密度リポタンパク質コレステロール)が高いと言われた場合、これはほとんどの場合は良いことです。HDLコレステロールは、血管壁に蓄積した余分なコレステロールを肝臓に運び、動脈硬化などの疾患を防ぐ役割を担っています。つまり、HDLコレステロールが高めだと、動脈硬化や心臓病のリスクが低下すると考えられており、それ故に善玉コレステロールとも呼ばれています。むしろ低すぎる場合(40mg/dl未満)は脂質異常症と診断され管理が必要です。

伝的にコレステロールを運ぶたんぱく質が少なくなる疾患の可能性があり動脈硬化のリスクが高まります。HDLコレステロールは多いが機能が低下しておりコレステロールを運べない状態です。

HDLコレステロールの上限値は学会レベルでの設定はありませんが、100mg/dl程度までなら多くの場合問題はありません。しかし、それ以上高値で血縁の方に比較的若年で心筋梗塞などに罹患された方がおられる場合やご自身が年齢に比して動脈硬化が強い場合は遺伝子検査が必要で設備の整った専門病院の受診が必要です。

脂質系検査はまず中性脂肪・悪玉コレステロール(LDL・non-HDLコレステロール)が高くないかとHDLコレステロールが低すぎないかを基本として確認してください。



池田市医師会